

実施体制及び国内外のネットワーク

提案主体名	神奈川県
提案プロジェクト名	環境共生モデル都市「ツインシティ」の整備推進
① 実施体制(構成主体と役割分担)	※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。
	ツインシティの整備の実施体制は、行政・住民・企業の三者が、それぞれの役割を担い、相互に連携する三者協働の取組みを進めることとしている。ツインシティの三者協働の取組みは、行政が、事業主体・手法の決定・周辺都市との広域連携を担い、県民・地元・地権者が、都市づくりを行う区域内のまちづくり方針を定めるとともに、企業が、ツインシティ応援団の組織化と事業推進を行うための、パイロット事業の提案、社会実験の実施、事業参画、施設立地検討を行うものである。また、事業を進める際には、地元が中心となって、地域主体のマネジメント組織を設立し、調整を進める。
② 実施体制(プロジェクトマネジメントのための具体的な方法論)	※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。
	ツインシティの実施体制としては、計画提案方式としている。まず、県が、ツインシティ予定地区を対象地とし、企業、大学、コンサルタント等に環境共生の都市づくりの呼びかけを行い、呼びかけに応じた組織による検討組織をつくり検討を行い、このアイデアを開発者に提案し、今後、開発者が導入するシステムを決定し、事業化検討を経て、着工する。 現在、企業・大学・コンサルタント等は、ツインシティ研究パートナー連絡会、かながわエコ・エネルギータウン研究会、ツインシティ整備に係る企業・大学懇談会等を設立し検討を進めており、地元組織として、環境と共生するまちづくり検討会を設立し、この検討会を窓口として調整を進めている。
③ 国内外のネットワーク(国内外のベストプラクティスの相互交流のための具体的な方法論)	※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。
	ツインシティの高い交通利便性を活かし、各大学、研究機関などが発展しやすい施設整備を行い、企業や研究機関、大学の分室を集約させ大学相互の連携や企業との連携を図る。そして、CO2削減・環境企業・教育エリアとして、国内外にアピールする。また、低炭素社会の実現に向けた、都市エネルギーシステムのあり方についての研究理論や計画技術がまだ確立されてないことから、ツインシティで、研究・実証実験に取り組む。ツインシティという環境共生型の新市街地を整備することで生まれ、確立する技術は、新市街地だけでなく、既成市街地の再整備への適用が可能であることから、長期的視点では環境共生の取組みを全国に円滑に浸透させることになるかと考える。
④ 国内外のネットワーク(国内外の都市・地域との連携を強化するための具体的な方法論)	※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。
	ツインシティの個々の環境共生施策を連携し、都市をショーケース化して(世界で応用可能なパッケージとして都市自体をショーケースとして発信)、環境共生都市や街区のコンセプトを世界に発信していく。

※別紙様式3は、可能な範囲内でご提案願います。